

平成5年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成5年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成5年12月9～10日の2日間、植調会館会議室において開催された。なお、適1試験は、平成5年10月7日植調会館にて開催された。これらの成果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)成績について

平成5年度の適1試験は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟第1試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、九州地域(植調佐賀試験地)の全国7地域で38薬剤(のべ179点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)成績について

平成5年度の適2試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理(Ⅱ-1, 7剤59点)、移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 7剤88点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 4剤70点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 3剤46点)、適用時期拡大(Ⅱ-5, 4剤47点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ29剤67点)、湛水直播栽培用(Ⅲ-1, 5剤36点)、

乾田直播栽培用(Ⅲ-2, 6剤20点)、畦畔雑草用(Ⅳ, 9剤73点)、耕起前雑草用(Ⅴ, 3剤17点)、不耕起栽培移植・播種前雑草対象(Ⅴ, 1剤14点)、初期一発処理剤(Ⅶ-1, 35剤350点)、初・中期一発処理剤(Ⅶ-2, 60剤667点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3-1), 2剤28点)、一年生持続型除草剤(Ⅶ-3-2), 3剤27点)、少量散布(Ⅷ, 3剤9点)の総のべ点数が1,618点であった。これら適2試験の判定結果は第2表、使用基準は第4表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成5年度の適用性試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 1剤16点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 1剤30点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 1剤16点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ2剤)、初期一発処理剤(Ⅶ-1, 5剤46点)、初・中期一発処理剤(Ⅶ-2, 1剤17点)、一年生持続型除草剤(Ⅶ-3-2), 1剤7点)の総のべ点数が141点であった。これら適用性試験の判定結果は第3表、使用基準は第5表のとおりである。

第1表 平成5年度水稲作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

注) 判定欄の記号については、◎: 極めて有望, ○: 有望, □: 可能性あり, △: 再検討, ×: 見込みなし, を表わす。

No.	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
1	AC-014A① 粒 〔日本サイアナミッド〕	AC-140 0.2 未公開(既知) 1.3	○	○	○	○	○	○	△	寒地～温暖地西部○, +0 ～ノビエ1.5Lまで(一発 処理剤) 〔暖地の薬害〕
2	AC-014BS-1kg 粒 〔日本サイアナミッド〕	AC-140 0.6 未公開(既知) } 未公開(既知) } ¹⁴	○	○	○	○	◎	○	○	全域○, +5～ノビエ2L まで(一発処理剤)
3	AC-014G-1kg 粒 〔日本サイアナミッド〕	AC-140 未公開(既知) 計 6.6	○	△	○	○	◎	□	□	□ 〔効果・薬害〕
4	AGH-925-1kg 粒 〔アグロス〕	未公開(既知) 0.3 未公開(新規) 1.8 未公開(規知) 9.0				○	○		○	温暖地以西○, +5～ノビ エ3Lまで(一発処理剤) 〔ノビエ3Lの効果確認, 広葉雑草に対する効果〕
5	CG-198-1kg 粒 〔日本チバガイギー〕	プレチラクロール 4.5 エスプロカルブ 15.0 シノスルフロン 0.24		○	○	○	○			寒冷地・温暖地○, +5～ ノビエ2Lまで(一年生雑 草・マツバイ・ホタルイ)
6	CH-907-1kg 粒 〔中外製薬〕	CH-900 3.0 イマズスルフロン 0.9 ダイムロン 15.0	○	◎	◎	◎	◎	○	○	全域○, +5～ノビエ2.5 Lまで(一発処理剤)
7	CH-908-1kg 粒 〔中外製薬〕	CH-900 3.0 ベンスルフロンメチ ル 0.3 DPX-47 0.06 ダイムロン 6.0	○	○	◎	◎	◎	○	○	全域○, +5～ノビエ2.5 Lまで(一発処理剤)
8	DPX-47ND-1kg 粒 〔DPX-ND研究会 (事: 日本農薬)〕	ベンスルフロンメチ ル 0.3 DPX-47 0.06 テニルクロール 2.1 DEH-112 1.8	○	○		○	○		□	寒地～温暖地○, +5～ノ ビエ3Lまで(一発処理剤) 〔ノビエ3Lの効果確認〕
9	DPX-84MN-1kg 粒 〔レインジャー研究会 (事: 北興化学)〕	ジメビペレート 15.0 ベンスルフロンメチ ル 0.75 ペンフレセート 4.5	○	○						寒地・寒冷地北部○, +5 ～ノビエ2.5Lまで(一発 処理剤)

No	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
10	DPX-84MN㊟- 1kg 粒 〔レインジャー研究会 (事: 北興化学)〕	ジメピペレート 15.0 ベンスルフロンメチ ル 0.51 ベンフレセート 4.5			◎	○	○	○	□	寒冷地南部以西○, +5~ ノビエ2.5Lまで(一発処 理剤) 〔暖地での効果確認〕
11	Hoe-404 粒 〔ヘキスト ジャパ ン〕	未公開 0.08	○	□	□	□	○	○	△	□, 一年生非イネ科雑草・ マツバイ・ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤツリ —
	JA-324A 粒 〔ヘキスト ジャパ ン〕	未公開 0.08	○	○	○	□	○	○	□	全域○, 一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガヤツリ 〔混合母剤としての検討〕
	JA-324B 粒 〔ヘキスト ジャパ ン〕	未公開 0.08	○	○	○	□	○	○	□	全域○, 一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガヤツリ 〔混合母剤としての検討〕 注) Hoe-404, JA- 324A, JA-324B は有効成分は同じで製剤 方法が異なる.
12	KPP-2005㊟ フロアブル 〔科研・カーリット〕	KPP-314 9 JC-940 30		△		○		○		□, 一年生雑草・マツバイ・ ホタルイ・ミズガヤツリ 〔効果・被害〕
13	KPP-932 フロアブル 〔科研製薬〕	未公開(3種) 39.6	□	□	◎	○	○	○	□	□, (一発処理剤)
14	KPP-932-1kg 粒 〔科研製薬〕	未公開(3種) 19.8	□	○	◎	○	○	○	□	□, (一発処理剤)
15	KUH-931-1kg 粒 〔クミアイ化学〕	KUH-920(未) 0.3 ベンスルフロンメチ ル 0.3 DPX-47 0.06 未公開(既知) 4.5	○	○	○	○	○	○	□	全域○, +5~ノビエ3L まで(一発処理剤) 〔暖地の効果確認〕
16	KUH-936㊟-1 kg 粒 〔クミアイ化学〕	KUH-920(未) 0.3 ベンスルフロンメチ ル 0.75 未公開(既知) 4.5	○	○						寒地・寒冷地北部○, +5 ~ノビエ3Lまで(一発処 理剤)

No	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
17	KUH-936-1kg 粒 〔クミアイ化学〕	KUH-920 (未) 0.3 ペンシルフロンメチ ル 0.51 未公開 (既知) 4.5			○	○	○	○	△	寒冷地南部～温暖地西部○, +5～ノビエ3Lまで (一 発処理剤) 〔暖地での効果確認〕
18	KUH-936ⓐB- 1kg 粒 〔クミアイ化学〕	KUH-920 (未) 0.3 ペンシルフロンメチ ル 0.75 既知 2.25		○						□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
19	KUH-936B-1kg 粒 〔クミアイ化学〕	KUH-920 (未公 開) 0.3 ペンシルフロンメチ ル 0.51 既知 2.25				□		○		□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
20	KUH-936ⓐC- 1kg 粒 〔クミアイ化学〕	KUH-920 (未公 開) 0.3 ペンシルフロンメチ ル 0.75 既知 1.8		○						□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
21	KUH-936C-1kg 粒 〔クミアイ化学〕	KUH-920 (未公 開) 0.3 ペンシルフロンメチ ル 0.51 既知 1.8				□		○		□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
22	MK-243D-1kg 粒 〔三菱化成〕	MK-243 1.5 未公開 (既知) 0.75	○	○						寒地・寒冷地北部○, +5 ～ノビエ2.5Lまで (一発 処理剤)
23	MK-243Dⓐ- 1kg 粒 〔三菱化成〕	MK-243 1.5 未公開 (既知) 0.51				○		○		□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
24	MK-243T-1kg 粒 〔三菱化成〕	MK-243 1.5 TH-913 0.9	○	□		○		○		□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
25	MT-246-1kg 粒 〔三井東圧〕	MT-146 (新規) 2.0 未公開 (既知) 7.0		△		○			□	□, (一年生雑草・マツバ イ・ホタルイ) 〔効果・薬害〕
26	MT-346-1kg 粒 〔三井東圧〕	MT-146 (新規) 1.5 未公開 (既知) 7.0 未公開 (既知) 12.0		□		○			□	□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕

No	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
27	NC-311DCD- 1kg 粒 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエ チル 0.3 DEH-112 1.8 プレチラクロール 4.5 ジメタメトリン 0.6	○	○		□	○		△	寒地・寒冷地北部○, +5 ～ノビエ2.5Lまで(一発 処理剤) 〔寒冷地南部以西の効果・ 薬害, ノビエ3Lの効果〕
28	NC-311KP ドライフロアブル 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエ チル 0.21gai/a KPP-314 3.9gai/a		△		○				□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
29	NC-311KP-1kg 粒 〔日産化学, 科研製 薬〕	ピラゾスルフロンエ チル 0.3 KPP-314 3.9	○	○		○			△	寒地・寒冷地北部○, +0 ～ノビエ1.5Lまで(一発 処理剤) 〔寒冷地南部以西の効果・ 薬害〕
30	NC-339-1kg 粒 〔日産化学, 三菱化 成〕	ピラゾスルフロンエ チル 0.3 MK-243 1.5	○	○		○			□	寒地・寒冷地北部○, +5 ～ノビエ2.5Lまで(一発 処理剤) 〔寒冷地南部以西の効果・ 薬害〕
31	NC-349 粒 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエ チル 0.07 エスプロカルブ 7 オキサジアゾン 0.2	□	○		○	○		△	□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
32	NC-351 粒 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエ チル 0.07 エスプロカルブ 7 ビフェノックス 1	□	□		○	○		△	□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
33	NC-355 ドライフロアブル 〔日産化学〕	未公開(2種) 3.21gai/a		□		◎				□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
34	NC-356-1kg 粒 〔日産化学〕	未公開(3種) 9.3		□		◎				□, (一発処理剤) 〔効果・薬害〕
35	NCH-903DEH- 1kg 粒 〔日産化学, 中外製 薬〕	ピラゾスルフロンエ チル 0.3 CH-900 2.1 DEH-112 1.8	◎	○		○			△	寒地・寒冷地北部○, +5 ～ノビエ3Lまで(一発処 理剤) 〔寒冷地南部以西の効果・ 薬害〕

No.	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
36	NH-9302-1kg 粒 〔日本農薬〕	未公開(既) 19.86	◎	□	○	○	◎		△	寒地～温暖地東部○, +5 ～ノビエ2.5Lまで(一発 処理剤) 〔暖地の効果確認〕
37	S-173-1kg 粒 〔住友化学〕	S-173(未) 1.0	□	△	○	○	◎	○	△	□, (一年生雑草・マツバ イ) 〔効果, 混合母剤としての 検討〕
38	S-580-1kg 粒 〔住友化学〕	S-173(未) 1.0 プロモブチド 10.0	□	△	○	◎	○	□	△	□, (一年生雑草・マツバ イ・ホタルイ・ミズガヤツ リ) 〔効果〕

注) 判定欄の記号については, ◎; 極めて有望, ○; 有望, □; 可能性あり, △; 再検討, ×; 見込なし, を表わす。

第2表 平成5年度水稻作関係除草剤2 試験成績判定結果一覧

区 分	実	実・継	継	継?	中止
Ⅱ-1. 移植前土壌混和 処理		CG-113乳, CGM-71フロア ブル, HOK-913乳, KPP- 2005フロアブル, RPC-208 乳, TCG-128乳.	KPP-2005⑩フロアブル.		
Ⅱ-2. 移植前後土壌処 理		CG-113-1kg粒, CGM-71 フロアブル, KPP-2005⑩フロ アブル, KPP-2005フロアブル, MO-338-1kg粒, MTS-1 フ ロアブル, MTS-1-1kg粒.			
Ⅱ-3. 移植後土壌処理		TSR-121フロアブル, Y-873 -1kg粒.	S-173-1kg粒, S-580-1 kg粒.		
Ⅱ-4. 茎葉兼土壌処理		DEH-112粒, DEH-112-1 kg粒, DEH・BAS乳(ME).			
Ⅱ-5. 適用時期拡大		DEH-112乳(EW), DEH・ BAS乳(ME), NS-177粒, モリネートSM-1kg粒.			
Ⅱ-6-(1) クログワイ 対象		MTS-1粒, NC-311SC①粒, NC-329粒, NSK-855①フロ アブル, SKH-8602①粒.	DPX-84ND粒, DPX-84ND① 粒, DPX-84SC①-1kg粒, NC-311HW粒, SW-907粒.		
Ⅱ-6-(2) オモダカ対 象		NC-311T粒, NS-177粒.	DPX-84MN粒, DPX-84MN ①粒, DPX-84ND粒, DPX- 84ND①粒, DPX-84SC-1kg 粒, DPX-84SC①-1kg粒, NC-311HW粒.		

区 分	判 定	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
II-6-(5)	シズイ対象		DPX-84MN粒, NC-311HW粒, NC-311R粒, SW-907粒, TH-913粒.			
II-6-(6)	エゾノサヤヌカグサ対象		DPX-84SC-1kg粒, TH-913粒.			
II-6-(8)	コウキヤガラ対象		DPX-84MN粒, DPX-84MN粒, DPX-84T-1kg粒.			
III-1.	湛水直播		DEH-112-1kg粒, DPX-84M粒, KUH-883粒-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, TH-913HSK-1kg粒.			
III-2.	乾田直播		DEH-112乳(EW), DEH-BAS乳(ME), KUH-883粒-1kg粒.	HW-932乳, KUH-911液, KUH-911Aフロアブル.		
IV	畦畔雑草		BGX-816水溶, Hoe-86610液, HSW-9106液, Mon-6069水溶, SC-224液, SUM-302顆粒水和, ULV-03液, グリホサート液.	KUH-913液.		
V	耕起前雑草		Hoe-866液, Hoe-86610液, SUM-302顆粒水和, グリホサート液(不耕起直播), グリホサート液(不耕起移植).			
VII-1.	初期一発処理剤		DPX-47CGD-1kg粒, DPX-47K-1kg粒, DPX-84CG-1kg粒, DPX-84CG粒-1kg粒, DPX-84M粒, DPX-84M粒, HOK-922粒, KUH-883-1kg粒, NC-311CG粒, NC-311CG-1kg粒, NC-311CG粒-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, NSK-850D粒, NSK-850D-1kg粒, NSK-850D粒, NSK-850D粒-1kg粒, NSK-855フロアブル, NSK-855粒フロアブル, PSS粒D粒, SKH-8602粒, SL-498粒-1kg粒, SL-498-1kg粒, SL-970フロアブル, SW-907粒, TDS-888フロアブル, TDS-888粒フロアブル, TH-913HSK-1kg粒, TH-913STフロアブル, TSM-612フロアブル.	AC-014BS-1kg粒, KPP-932フロアブル, KPP-932-1kg粒, NC-311KPドライフロアブル, NC-311KP-1kg粒, NC-311KS粒-1kg粒.		
VII-2.	初・中期一発処理剤		CH-904粒, CH-904粒, CH-906粒, CH-906粒, CH-907粒, CH-907-1kg粒, DPX-47K-1kg粒, DPX-47SC粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84MN粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX-84MN粒, DPX-84MN粒-1kg粒, DPX-84MN粒-1kg粒, DPX-84MN粒-1kg粒, DPX-84MN粒-1kg粒.	AC-014E-1kg粒, AGH-925-1kg粒, CH-908-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, KUH-921-1kg粒, KUH-926粒-1kg粒, KUH-926-1kg粒, KUH-931-1kg粒, KUH-936粒-1kg粒, KUH-936-1kg粒, KUH-936粒B-1kg粒.		

区 分 判 定	実	実 ・ 継	継	継？	中止
Ⅶ-2. 初・中期一発処理剤（つづき）		ND粒, DPX-84ND①粒, DPX-84SC-1kg粒, DPX-84SC①-1kg粒, DPX-84T-1kg粒, DPX-84TD①-1kg粒, KUH-883-1kg粒, KUH-883①粒, KUH-883①-1kg粒, NC-311DCD粒, NC-311HW粒, NC-311SC①粒, NC-311SC①-1kg粒, NC-311T-1kg粒, NC-329粒, NC-329-1kg粒, NC-345粒, NCH-903粒, TH-913ADE-1kg粒, TH-913SN粒, TH-913SN-1kg粒.	粒, KUH-936B-1kg粒, KUH-936①C-1kg粒, KUH-936C-1kg粒, MK-243D-1kg粒, MK-243D①-1kg粒, MK-243T-1kg粒, NC-339-1kg粒, NC-349粒, NC-351粒, NC-355ドライフロアブル, NC-356-1kg粒, NCH-903DEH-1kg粒, NH-9302-1kg粒.		
Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤			AC-014A粒, AC-014C粒.		
Ⅶ-3-(2) 一年生持続型		CH-902粒, CH-902-1kg粒.	CG-198-1kg粒.		
Ⅷ-1. 少量散布法		KUH-883-1kg粒, KUH-883①-1kg粒, NC-311R粒.			

第3表 平成5年度水稻作除草剤ジャンボ剤適用性試験成績判定結果一覧表

区 分 判 定	実	実 ・ 継	継	継？	中止
Ⅱ-2. 移植前後土壌処理		KPP-2005ジャンボ.			
Ⅱ-3. 移植後土壌処理		AKD-7036ジャンボ.			
Ⅱ-4. 茎葉兼土壌処理		DEH-112ジャンボ.			
Ⅱ-6-(1) クログワイ対象			JC-940ジャンボ.		
Ⅱ-6-(5) シズイ対象			JC-940ジャンボ.		
Ⅶ-1. 初期一発処理剤		NC-311SSジャンボ, NSK-850Dジャンボ, NSK-850D①ジャンボ, SW-918①ジャンボ, SW-918ジャンボ.			
Ⅶ-2. 初・中期一発処理剤			NC-353ジャンボ.		
Ⅶ-3-(2) 一年生持続型			CH-902ジャンボ.		

注: 1) 本年度新規に使用基準の作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。
2) 本年度は「継？」および「中止」と判定された薬剤はなかった。

第4表 平成5年度水稻関係除草剤使用基準一覧表

II-1 移植前土壌混和処理

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカ	オカ マカ	ミカ マカ	ハカ マカ	カカ マカ	ホカ マカ	ヒカ マカ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-1 1. CG-113 乳	土 壌 混 和 処 理	北海道	○	○	○				○				植代時 (~4)	30~ 50 ml/a	○	○	○	○	2	* 混和時 の水深 3~5cm ** 混和深 2~3cm
		東北	○	○	○		●		○						○	○	○	○		
		北陸	○	○	○		●		○							○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早	○	○	○		○							○	○	○	○		
			普	○	○	○		○							○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早	○	○	○		○								○	○	○	1	
			普	○	○	○		○							○	○	○	○		
		四国	早	○	○	○		○								○	○	○		
			普	○	○	○		○							○	○	○	○		
		九州	早	○	○	○		○								●	○	○		
			普	○	○	○									50		○	○		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカ	オカ マカ	ミカ マカ	ハカ マカ	カカ マカ	ホカ マカ	ヒカ マカ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-1 2. CGM-71 フロアブル	土 壌 混 和 処 理	北海道	○	○	○	○		○					植代時 (~4)	50ml/a	1.5 ●	○	○	○	2	* 混和時 の水深 3~5cm ** 混和深 2~3cm
		東北	○	○	○	○	●								●	●	○	○		
		北陸	○	○	○	○	○								○	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早	○	○	○	○								○	○	○	○		
			普	○	○	○	○								○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早	●	●	●	●	●								●	●	●	1	
			普	○	○	○	○								○	○	○	○	1.5	
		四国	早	●	●	●	●	●								●	●	●	1	
			普	○	○	○	○								○	○	○	○	1.5	
		九州	早	●	●	●	●	●									●	●	1	
			普	●	●	●	●	●									●	●		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカ	オカ マカ	ミカ マカ	ハカ マカ	カカ マカ	ホカ マカ	ヒカ マカ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-1 3. HOK-913 乳	土 壌 混 和 処 理	北海道	○	○	○								植代時 (~4)	50 ml/a		○	○	○	2	混和時 の水深 3~5cm * 混和深 2~3cm
		東北	○	○	○												○	○	1	
		北陸	○	○	○										○	○	○	○	2	
		関東 ・東山 ・東海	早	●	●	●									1●	1●	●	●		
			普	○	○	○									○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早	●	●	●											●	●	1	
			普	○	○	○										○	○	○		
		四国	早	●	●	●											●	●		
			普	○	○	○										○	○	○		
		九州	早	●	●	●									●	●	●	●		
			普	○	○	○											○	○		

II-1 のつづき

II-1 4. KPP-2005Φ フロアブル 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	ササ	カサ	ミササ	ハササ	カサイ	ササ	ヒササ	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-1 5. KPP-2005 フロアブル	土壌混和処理	北海道		○	○	○									植代時 (~4)	100 ml /a		○	○	○	2	混和時の水深 3~5cm
		東北		○	○	○		○									●	●	○	○		
		北陸		○	○	○		○										○	○	○		
		関東・東山・東海	早	●	●	●		●										○	○	○		混和深 2~3cm
			普	○	○	○		○										○	○	○		
		近畿・中国	早	●	●	●		●									●	●	●	●	1	
			普	○	○	○		○									●	○	○	○	1.5	
		四国	早	●	●	●		●									●	●	●	●	1	
			普	○	○	○		○									●	○	○	○	1.5	
		九州	早	●	●	●		●									●	●	●	●	1	
			普	○	○	○		○									●	●	○	○		

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	ササ	カサ	ミササ	ハササ	カサイ	ササ	ヒササ	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-1 6. RPC-208 乳	土壌混和処理	北海道		○	○	○			○						植代時 (~4)	50ml /a	●	○	○	○	2	混和時の水深 3~5cm
		東北		○	○	○		●											○			
		北陸		○	○	○		●											○		1	
		関東・東山・東海	早	○	○	○		○									●	●	○	○	2	混和深 2~3cm
			普	○	○	○		○										○	○	○		
		近畿・中国	早	●	●	●		●										●	●	●	1	
			普	○	○	○		○									●	○	○	○	1.5	
		四国	早	●	●	●		●										●	●	●	1	
			普	○	○	○		○									●	○	○	○	1.5	
		九州	早	○	○	○		○									●	●	○	○	1	
			普																			

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	ササ	カサ	ミササ	ハササ	カサイ	ササ	ヒササ	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-1 7. TCG-128 乳	土壌混和処理	北海道		○	○	○			○						植代時 (~4)	50ml /a	1.5 ○	○	○	○	2	混和時の水深 3~5cm
		東北		○	○	○		○									○	○	○	○		
		北陸		○	○	○		○									○	○	○	○		
		関東・東山・東海	早	○	○	○		○									○	○	○	○	1	混和深 2~3cm
			普	○	○	○		○									○	○	○	○	2	
		近畿・中国	早	○	○	○		○											○	○	1	
			普	○	○	○		○									○	○	○	○		
		四国	早	○	○	○		○											○	○		
			普	○	○	○		○									○	○	○	○		
		九州	早	●	●	●		●									●	●	●	●		
			普	○	○														○	○		

II-2 移植前後土壌処理

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マダ	ササ マダ	ワサ マダ	ミサ マダ	ハサ マダ	カサ マダ	モサ マダ	ヒサ マダ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
II-2 1.CG-113 -1kg 粒	土 壌 処 理	北海道		○1	○	○始			○始					植代後～-4 , +0～+5 (/tL)	100 g/a	○	○	○	○	2		
		東北		○1	○	○始			○始	○始						○	○	○	○			
		北陸		○1	○	○始			○始	○始							○	○	○			
		関東 ・東山 ・東海	早	○1	○	○始											○	○	○			
			普	○1	○	○始										○	○	○				
		近畿 ・中国	早	○1	○	○始									植代後～-4 , +0～+3 (/tL)			○	○	○		1
			普	○1	○	○始												○	○	○		
		四国	早	○1	○	○始												○	○	○		
			普	○1	○	○始												○	○	○		
		九州	早	●1	●	●始									●	●	●	●				
	普	○1	○	○始												○	○					

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉 マダ	ササ マダ	ワサ マダ	ミサ マダ	ハサ マダ	カサ マダ	モサ マダ	ヒサ マダ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意				
II-2 2.CGM-71 フロアブル	土壌 処理	北海道		○	○	○	○		○						+0	50ml /a	○	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北 ・関東 ～東海 ・近畿 ～西国 ・九州)				
		東北		○	○	○	○										●	●	○	○						
		北陸		○	○	○	○	●							●		○	○	○							
		関東・ 東山・ 東海	早	○1	○	○始	○始									+0 (ノビエ1L)		○	○	○	○		1			
			普	○1	○	○始	○始										○	○	○	○						
		近畿・ 中国	早	●	●	●	●	●								+0			○	●	●		●	1	水口処 理可能 (東北 ～西国)	
			普	○	○	○	○	○											○	○	○		○	1.5		
		四国	早	●	●	●	●	●												○	○		○	○		1
			普	○	○	○	○	○												○	○		○	○		1.5
		九州	早																							
			普	○	○	○	○	○	○												○		○	○		○

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉 マダ	ササ マダ	ワサ マダ	ミサ マダ	ハサ マダ	カサ マダ	モサ マダ	ヒサ マダ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
II-2 3.KPP -2005Φ フロアブル	土 壌 処 理	北海道		●1	●	●始									植代後～-4, +0～+3 （ノビL） + 0～+3 （ノビL）	50ml		●	●	●	2		
		東北		●1	●	●始		●始	●始									●	●	●	1		
		北陸		●1	●	●始		●始									●	●	●	●	2		
		関東 ・東山 ・東海	早																				
			普																				
		近畿 ・中国	早																				
			普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
			普																				

	処理法	地域名	作期 /年	一年広葉 の割合	杉	材	ミナ ツバキ	ハチマ ツバキ	カサ ツバキ	モリ ツバキ	ヒメ ツバキ	藻類 表層剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 壤土 1.5	堆 土	埋 土	埋 土	水深 cm/d	使用上の注意	
II-2 4.KPP-2005 フロアブル	土壌処理	北海道	○1	○	○始									植代後～-4 , +0～+3 (/ECL)	100 ml/a	●	○	○	○	2	(31)	
		東北	○1	○	○始		○始									●	●	○	○			
		北陸	○1	○	○始		○始									○	○	○	○			
		関東・東山・東海	早 ●1	●	●始		●始									●	●	●	●			
			普 ○1	○	○始		○始									○	○	○	○			
		近畿・中国	早 ●1	●	●始		●始										●	●	●	1		
			普 ○1	○	○始		○始									○	○	○	○			
		四国	早 ●1	●	●始		●始										●	●	●			
			普 ○1	○	○始		○始									○	○	○	○			
		九州	早 ●1	●	●始		●始											●	●			
			普 ○	○	○													○	○			

	処理法	地域名	作期	1年 /1回	1年 広葉 材	針葉 材	混交 材	常緑 樹	雑草 類	シダ 類	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 込 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
II-2 5.MO-338 -1kg 粒	土壌処理	北海道	早	○	○								植代後～4 ， +0～+6 (1回 1L)	100 g/a	1.5	○	○	○	2	
		東北	早	○	○										○	○	○	○		
			普	○	○										○	○	○	○		
		北陸	早	○	○										○	○	○	○		
			普	○	○										○	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早	○	○										○	○	○	○		
			普	○	○										○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早	○	○										○	○	○	○	1	
			普	○	○										○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○	○										○	○	○	○	1	
			普	○	○										○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○	○										○	○	○	○	1	
普	○		○								○	○	○	○	2					

	処理地	地域名	作 期	1年 広葉 の割合	杉の割合	ツグミの割合	ミズナラの割合	アサギの割合	カシの割合	トナリの割合	ヒメツグミの割合	深層表層剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/a	使用上 の注意
II-2 6. MTS-1 フロアブル	土 壌 処 理	北海道		○1	○	○始					○始		植代後～-4 , +0～+6 (/ビ・IL)	100 ml/a		○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北・関東 ～東海・近畿 ～四国・九州)
		東北		○1	○	○始										○	○	○	2	
		北陸		○1	○	○始										○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早	○1	○	○始										○	○	○		
			普	○1	○	○始										○	○	○		
		近畿 ・中国	早	○1	○	○始										○	○	○	1	
			普	○1	○	○始									○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○1	○	○始										○	○	○	1	
			普	○1	○	○始									○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○1	○	○始										○	○	○	1	
			普	○1	○	○始										○	○	○		

II-2のつづき

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	杉	カサ	ミナ	ハナ	カサ	ハナ	ハナ	種類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-2 7.MTS-1 -1kg 粒 II-6-(1) No.4を併用	土壌処理	北海道		○1	○	○始			○始					植代後～4 +0～+6 (ノビ 1L)	100 g/a	●	○	○	○	2	(42)
		東北		○1	○	○始			○始												
		北陸		○1	○	○始			○始												
		関東・東山・東海	早	○1	○	○始															
			普	○1	○	○始															
		近畿・中国	早	○1	○	○始															
			普	○1	○	○始															
		四国	早	○1	○	○始															
			普	○1	○	○始															
		九州	早	○1	○	○始															
			普	○1	○	○始															

II-3 移植後土壌処理

II-3 1.S-173-1kg粒 「継」

II-3 2.S-580-1kg粒 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	杉	カサ	ミナ	ハナ	カサ	ハナ	ハナ	種類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-3 3.TSR-121 フロアブル	土壌処理	北海道		○1.5	○	○始								+0～ノビ1.5L	50 ml/a	●	○	○	○	2	(33) 田植同時散布可能 (東北・関東・近畿・四国・九州)
		東北		○1.5	○	○始															
		北陸		○1.5	○	○始															
		関東・東山・東海	早	○1.5	○	○2															
			普	○1.5	○	○2															
		近畿・中国	早	○1.5	○	○始															
			普	○1.5	○	○始															
		四国	早	○1.5	○	○始															
			普	○1.5	○	○始															
		九州	早	●1.5	●	●始															
			普	○1.5	○	○始															

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	杉	カサ	ミナ	ハナ	カサ	ハナ	ハナ	種類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-3 4.Y-873 -1kg粒	土壌処理	北海道		●1.5	●	●始								+3～ノビ1.5L	100 g/a	●	●	●	●	2	
		東北		●1	●	●始															
		北陸		●1	●	●始															
		関東・東山・東海	早	●1.5	●	●始															
			普	●1.5	●	●始															
		近畿・中国	早																		
			普	●1.5	●	●始															
		四国	早																		
			普	●1.5	●	●始															
		九州	早																		
			普	●1.5	●	●始															

II-4 茎葉兼土壌処理

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マカイ	ササ	ワカ	ミナ	ハサ	カサ	ササ	ハサ	カサ	ノビ	葉類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-4 1. DEH-112 粒	茎葉兼土壌処理	北海道	●3													ノビエ2L ~3L	300 g/a		●	●	●	2	5cm程度の 水深で 使用する
		東北	●3																●	●	●	1	
		北陸	●3																●	●	●	2	
		関東・東山・東海	早	●3															●	●	●		
			普	●3															●	●	●		
		近畿・中国	早																				
			普	●3															●	●	●	1	
		四国	早																				
			普	●3															●	●	●		
		九州	早	●3															●	●	●		
			普	●3															●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マカイ	ササ	ワカ	ミナ	ハサ	カサ	ササ	ハサ	カサ	ノビ	葉類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-4 2. DEH-112 -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道	●3													ノビエ2L ~3L	100 g/a		●	●	●	2	5cm程度の 水深で 使用する
		東北	●3																●	●	●	1	
		北陸	●3																●	●	●	2	
		関東・東山・東海	早	●3															●	●	●		
			普	●3															●	●	●		
		近畿・中国	早																				
			普	●3															●	●	●	1	
		四国	早																				
			普	●3															●	●	●		
		九州	早	●3															●	●	●		
			普	●3															●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉 マカイ	ササ	ワカ	ミナ ツリ	ハサ カ	カサ イ	ササ カ	ヒム シ	葉類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意			
II-4 3. DEH・BAS 乳(ME)	茎葉兼土壌処理	北海道		●4	●	●4	●4			●4					ノビエ2L~4L	100 ml/a (散布 水量 7~10 l/a)		●	●	●	2	(6) (10) (11) (12)		
		東北		●4	●	●3									ノビエ3L ~4L				●	●	1			
		北陸		●4	●	●*	●5	●5											●	●	●		2	
		関東 ・東山 ・東海	早	●3	●	●3	●3	●3									ノビエ2L ~3L		●	●	●			
			普	●3	●	●3	●3	●3											●	●	●			
		近畿 ・中国	早	●4.5	●	●4	●4	●4									ノビエ2.5L ~4.5L			●	●		●	1
			普	●4.5	●	●4	●4	●4											●	●	●			
		四国	早	●4.5	●	●4	●4	●4												●	●		●	
			普	●4.5	●	●4	●4	●4												●	●		●	
		九州	早														ノビエ2L ~4L							
			普	●4	●	●*	●5	●5												●	●		●	

*花茎抽出始

II-5のつづき

	処理法	地域名	作期	/t/a	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツグ	ミナ ツグ	ハナ ツグ	加 ツグ	ト ツグ	ハ ツグ	深 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意			
II-5 4.モリネートSM -1kg 粒	聖 菜 兼 土 壌 処 理	北海道		02.5	○	○3	○4		○4				○前		+20~+25 (ノビ2.5L)	100 g/a	1.5	○	○	○	○	2	(1) (8) (9) (21) (39)		
		東北		03.5	○	○3	○4	○3	○4		欠 ○切 棄 1~ 2L		○発 生 期		+20~+30 (ノビ5L以降)		○	○	○	○					
		北陸		03.5	○	○3	○4	○3	○4				○前				○	○	○	○					
		関東 ・東山 ・東海	早	03.5	○	○3	○4	○3					○前		+20~+30 (ノビ3.5L)		○	○	○	○	2				
			普	03.5	○	○3	○4	○3					○前				○	○	○	○					
		近畿 ・中国	早												+20~+30						1				
			普	03.5	○	○3	○4	○3					○前						○	○	○				
		四国	早																						
			普	03.5	○	○3	○4	○3					○前							○	○	○			
		九州	早	03.5	○	○3		○3													○	○		○	
			普																						

II-6-(1) クログワイ対象

II-6-(1) 1.DPX-84ND 粒 「継」

II-6-(1) 2.DPX-84NDΦ 粒(旧NSK-860Φ) 「継」

II-6-(1) 3.DPX-84SCΦ-1kg 粒 「継」

II-6-(1) 4.MTS-1 粒 「実・継」 II-2 No. 7の使用基準参照

II-6-(1) 5.NC-311HW 粒 「継」

II-6-(1) 6.NC-311SCΦ 粒 「実・継」 VII-2 No. 44の使用基準参照

II-6-(1) 7.NC-329 粒 「実・継」 VII-2 No. 47の使用基準参照

II-6-(1) 8.NSK-855Φ フロアブル 「実・継」 VII-1 No. 24の使用基準参照

II-6-(1) 9.SKH-8602Φ 粒 「実・継」 VII-1 No. 26の使用基準参照

II-6-(1) 10.SW-907 粒 「継」

II-6-(2) オモダカ対象

II-6-(2) 1.DPX-84MN 粒 「継」

II-6-(2) 2.DPX-84MNΦ 粒 「継」

II-6-(2) 3.DPX-84ND 粒(旧NSK-860) 「継」

II-6-(2) 4.DPX-84NDΦ 粒(旧NSK-860Φ) 「継」

II-6-(2) 5.DPX-84SC-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 6.DPX-84SCΦ-1kg 粒 「継」

II-6-(2) のつづき

II-6-(2) 7. NC-311HW 粒 「継」

II-6-(2) 8. NC-311T 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マツ	ササ	カサ	ミササ	ハサ	知サ	ササ	ハサ	種類 表層剥離	セリ		処理時期	使用 量・製品	砂 壌土	壤 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-2 NC-311T	粒 土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前 ハサ	○再生 ハサ	エリノササカサ発生始	+10~20(ノビ)2.5L	1.5	○	○	○	2	(26)	
		東北		○2.5	○	○**	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前 2-3CM	○前 ハサ	エリノササカサ発生始	+5~ノビ2.5L *エリノササカサ発生始-2L	300 g/a	○	○	○		(34)	
		北陸		○2.5	○	○**	○2	○2	○2					○始	○	エリノササカサ発生始	***エリノササカサ発生始-本葉展開期		○	○	○		(36)
		関東・東山・東海	早	○2.5	○	○	○2	○2	○2		●始	○発生	○発生	○	○				○	○	○		(38)
			普	○2.5	○	○**	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○前	○再生 ハサ				○	○	○		(40)
		近畿・中国	早	○3	○	○	○2	○2	○2		●2	○発生	○発生	○再生 ハサ	○前 ハサ		+5~ノビエ3L		○	○	○	1	(41)
			普	○3	○	○	○2	○2	○2	○始	○始	○2	○期	○前	○始				○	○	○	1.5	(42)
		四国	早	○3	○	○	○2	○2	○2		●2	○発生	○発生	○再生 ハサ	○前 ハサ				○	○	○	1	(44)
			普	○3	○	○	○2	○2	○2	○始	○始	○2	○期	○前	○				○	○	○	1.5	
		九州	早	○3	○	○	○2	○2	○2		○始		○発生	○発生	○再生 ハサ				○	○	○		
			普	○3	○	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○前	○前				○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)
 オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)
 コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

II-6-(2) 9. NS-177 粒 「実・継」 (前年通り) II-5 No. 3の使用基準参照

II-6-(5) シズイ対象

II-6-(5) 1. DPX-84MN 粒 「実・継」 VII-2 No. 16の使用基準参照

II-6-(5) 2. NC-311HW 粒 「実・継」 VII-2 No. 43の使用基準参照

II-6-(5) 3. NC-311R 粒 「実・継」 VII-1 No. 3の使用基準参照

II-6-(5) 4. SW-907 粒 「実・継」 VII-1の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	ササ	カサ	ミササ	ハサ	知サ	ササ	ハサ	種類表層剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 SW-907 粒	土壌処理	北海道											○発生	○再生	+3~ノビエ2L	300 g/a					(3)
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○始	○	○	○	○	2	(26)
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2								○	○	○		(40)
		関東・東山・東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○	○	○	○	○		
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○	○	○	○	○		
		近畿・中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○再生	○	○	○	○	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○再生	○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○始	○	○	○	○	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○	○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○	○	○	○	○	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○再生	○	○	○	○	○		

II-6-(5) 5. TH-913④ 粒 「実・終」 II-5の使用基準に併用

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北・関東～九州)
クログワイ徹底防除には2回散布の連年施用する。(近畿・中国・四国)

II-6-(6) 1.DPX-84SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 22の使用基準参照

II-6-(6) 2.TH-913④ 粒 「実・継」 II-5の使用基準に併用 II-6-(5) No. 5 参照

II-6-(8) 1. DPX-84MN 粒 「実・継」 VII-2 No. 16の使用基準参照

II-6-(8) 2.DPX-84MNO 粒 「実・継」 VII-2 No. 18の使用基準参照

II-6-(8) 3.DPX-84T-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 24の使用基準参照

	処理法	地域名	作期	/ピ 一年 広葉 マカシ	サハ イ	ナガ ツ	ミヤ ツ	アモ ク	カブ イ	モロ コ	ビシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の注意
Ⅲ-1 1.DEH-112 -1kg g粒	茅葉糞土壌処理	北海道	●3										ノビエ2L ~3L	100 g/a		●	●	●	2	5cm程度の水深で使用する
		東北	●3														●	●	1	
		北陸	●3														●	●		
		関東 ・東山 ・東海	●3												●	●	●	●	2	
		近畿 ・中国	●3													●	●	●	1	
		四国	●3													●	●	●		
		九州	●3												●	●	●	●		

Ⅲ-1 のつづき

	処理法	地域名	作期	/ピ	一年 広葉 マツ	ササ ノ	ツバ キ	ミズ ナ	ハナ ナ	カサ イ	ササ ノ	ハナ ナ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅲ-1 5. TH -913 HSK -1 kg 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2				○発生 期	●前	○切再生 前~始	+5~ ノビエ2 L	100 g/a	○	○	○	2	2 砂壌土では +5処理で 苗木抑制を 生ずる事が あり旨を 示す(関東~ 東海)
		東北		○2	○	○2	●2	●2											○	○	1	
		北陸		○2	○	○2	○2	●2										●	●	○	2	
		関東 ・東山 ・東海		○2	○	○2	○2	○2						発生 期	○前			●	○	○	○	
		近畿 ・中国																				
				○2	○	○2	○2	○2										○	○	○	○	
		四国																				
				○2	○	○2	○2	○2										○	○	○	○	
		九州																				
				○2	○	○2	●2	●2										○	○	○	○	1

Ⅲ-2 乾田直播

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉 マツ	ササ ノ	ツバ キ	ミズ ナ	ハナ ナ	カサ イ	ササ ノ	ハナ ナ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用 の注
Ⅲ-2 1. DEH-112 乳(EW)	茎葉兼土壌処理	北海道													ノビエ3 L ~5 L (入水前)	100 mL/a (散布 水量 7~10 L/a 展着 剤用)						
		東北		●5															●	●		
		北陸		●5															●	●		
		関東 ・東山 ・東海																				
		近畿 ・中国																				
				●4.5																●	●	●
		四国		●4.5																●	●	●
		九州																				

	処理法	地域名	作期	/ピ	一年 広葉 マツ	ササ ノ	ツバ キ	ミズ ナ	ハナ ナ	カサ イ	ササ ノ	ハナ ナ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意			
Ⅲ-2 2. DEH・BAS 乳(ME)	茎葉兼土 壌処理	北海道													ノビエ3L~4.5L (入水前)	100 ml/a (散布 水量 7~10 l/a)									
		東北		●4.5																●	●				
		北陸		●4																	●	●			
		関東 ・東山 ・東海																							
		近畿 ・中国																ノビエ2L~4.5L (入水前)							
				●4.5	●			●													●	●	●		
		四国		●4.5	●			●													●	●	●		
九州																									

Ⅲ-2 3. HW-932 乳 「継」

Ⅳのつづき

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定有り ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 3.HSW-9106 液	北海道	全草種	雑草生育期 (草丈10cm以下)	300~600ml/a(10ℓ/a)	全土壌	(23) (24)
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

Ⅳ 4.KUH-913 液 「熊」

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定有り ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 5.Mon-6069 水溶	北海道	全草種 (スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	15~30 g/a (10ℓ/a) *少量散布: 希釈水量2.5ℓ/aでも有効 専用の散布ノズルを用いる	全土壌	(23) (24)
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 6.SC-224 液	北海道	全草種 (スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	20~40 ml/a (10ℓ/a) *少量散布: 10倍液500~600ml/aでも有効 専用の散布ノズルを用いる	全土壌	(23) (24)
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定有り ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 7.SUM-302 顆粒水和	北海道	全草種 (スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	40~60g/a (10ℓ/a)	全土壌	(23) (24)
	東 北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

IVのつづき

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定有り ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 8.ULV-03	液	北海道	全草種(スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	300~500ml/a 原液散布: 専用の散布機を用いる	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定有り ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 9. グリホサート	液 葉面処理	北海道	全草種 (スギナは除く)	雑草生育期～積雪期	一年生：25～50ml/a 多年生：75～100ml/a	全土壌	(23) (24)
		東 北		雑草生育期	※少量散布：25ml/aについては希釈水量2.5l/aでも有効 専用の散布機を用いる 10倍液500～800ml/aでも有効。 専用の散布ノズルを用いる		
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

V 耕起前雑草

地域名の欄の※で ○: 過年度実用化判定有り ●: 本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名	※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 1.Hoe-866	液	北海道						
		東 北	○	一年生雑草	耕起前20～15日 (雑草生育期)	25～50ml/a(10ℓ/a)	全土壌	(25)
		北 陸	○		耕起前20～7日 (雑草生育期)	少量散布: 25ml/aでは希釈水量2.5ℓ/aでも有効(東北・北陸・関東～東海)		
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○		耕起前20～15日 (雑草生育期)	30～50ml/a		

(平成4年までの使用量は30~50ml/a)

地域名の欄の※で ○: 過年度実用化判定有り ●: 本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 2.Hoe -86610	液 処理	北海道	一年生雑草	耕起前20～10日まで (雑草生育期)	40～75ml/a(10l/a) 25ml/a(2.5l/a)も有効 但し専用の散布ノズルを用 いる	全土壌	(25)
		東 北					
		北 陸					
		関東・東山・東海		耕起前20～7日まで (雑草生育期)			
		近畿・中国					
		四 国		耕起前20～10日まで (雑草生育期)	40～75ml/a		
		九 州					

(平成4年までの使用量は40~75ml/a)

Vのつづき 地域名の欄の※で ○：過年度実用化判定有り ●：本年度新たに実用化判定

処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 3.SUM-302 顆粒水和	北海道					
	東 北					
	北 陸	● 一年生雑草	耕起前7日(雑草生育期) まで	40~60g/a	全土壌	(25)
	関東・東山・東海	●				
	近畿・中国	●				
	四 国	●				
	九 州	●		50~60g/a		

地域名の欄の※で ○：過年度実用化判定有り ●：本年度新たに実用化判定

処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 4-1.グリホサート (不耕起直播)	北海道					
	東 北					
	北 陸	● 播種前全雑草	(雑草生育期) 播種前30~5日以前	50mL/a (5L/a)	全土壌	
	関東・東山・東海					
	近畿・中国	● 播種前全雑草	播種前30~5日以前	50mL/a (5L/a)	全土壌	
	四 国	●				
	九 州					

地域名の欄の※で ○：過年度実用化判定有り ●：本年度新たに実用化判定

処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 4-2.グリホサート (不耕起移植)	北海道					
	東 北	● 移植前全雑草	湛水前30~5日	50mL/a (5L/a)	全土壌	(25)
	北 陸	●				
	関東・東山・東海	●				
	近畿・中国	●				
	四 国	●				
	九 州					

VII-1 初期一発処理剤

VII-1 1.AC-014BS-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作 期	ノビ	一年 広葉 マツ	ササ イ	ツツ ジ	ミナ ツ	ハハ ツ	カサ ツ	トサ ツ	ヒメ ツ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
VII-1 2.DPX -47CGD -1kg 粒	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2			●発 生	●前	●再 生	+3~ ノビエ1.5L	100 g/a		●	●	●	2	(28)
	東北		●1.5	●	●2	●2	●2	●2			●発 生	●前	●再 生					●	●	1	(34)
	北陸		●1.5	●	●2	●2	●2					●前	●始					●	●		
	関東・東山・東海	早	●1.5	●	●始	●始					●発 生	●前	●再 生			●	●	●	●	2	
		普	●1.5	●	●2	●2	●2				●期	●前	●前				●	●	●	1	
	近畿・中国	早											●始								
		普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早									●発 生										
		普	●1.5	●	●2	●2	●2				●期	●前				●	●	●	●	1.5	

Ⅶ-1のつづき

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マカイ	ササ	ワカ	ミナ	ハナ	カサ	モサ	ヒム	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植壌土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-1 3.DPX-47K -1kg粒	土壌処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●	●前	●前	+5~ ノビエ2L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28)
		東北																				
		北陸																				
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期 /バ	一年 広葉 マカイ	ササ	ワカ	ミナ ワ	ハナ ワ	カサ イ	モサ イ	ヒム ワ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 4.DPX-84CG -1kg粒	土壌 処理	北海道	○2	○	○2	○2		○2			○発 生	○前	○発 生	+5 センチエ2L *注:0~3cm	100 g/a	1.5 ○	○	○	○	2	(26) (28) (38) (40) (42)
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○前	注イ ○*			○	○			
		北陸												始				○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早																		
			普																		
		近畿 ・中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マカイ	ササ	ワカ	ミナ ツ	ハナ ツ	カサ イ	モサ ツ	ヒム Ⅱ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意				
Ⅶ-1 5.DPX -84CG○ -1kg粒	土壌 処理	北海道																								
		東北																								
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2		○	始	○	○	○	再生 ○前	*北陸の砂壌 土は+5以降 +3~ノビ2L	100 g/a	*	○	○	○	○	2	(26) (28) (34) (38)	
		関東 ・東山 ・東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○	○	再生 ○前			+5~ノビ2L		○	○	○	○		
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2					○	○	○	始			○	○	○	○			
		近畿 ・中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○	○	再生 ○前				○	○	○	○			
			普	○2	○	○2	●2	○2	○2				●	○	○	○	前				○	○	○	○		1
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○	○	○	始				○	○	○	○		
			普	○2	○	○2	●2	○2	○2				●	○	○	○	再生 ○前				○	○	○	○		
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○	○	○	始				○	○	○	○		
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2				●	○	○	○	始				○	○	○	○		

Ⅶ-1 のつづき

処理法	地域名	作 期	ノビ	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	ト ツ	ヒ ツ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 6. DPX-84M 粒	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再生 前	○*	+7~/ビエ2L	1.5○	○	○	○		(28) * 25/25 幼 草丈20cm 以下
	東北		○2	○	○2	○2	○2	○2					○前		+0~/ビエ2L	300 g/a	○	○	○	○	
	北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2					○前	始	+7~/ビエ2L			○	○		
	関東 ・東山 ・東海	早 普	○2	○	○2	○2	○2								+5~/ビエ2L			○	○	○	
	近畿 ・中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作 期	ノビ	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	ト ツ	ヒ ツ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 7. DPX-84M○ 粒	北海道																				(28) (34) (38)
	東北																				
	北陸		○2	○	○2	○2	○2			○始	○	○発生 期	切 ○発生始～盛 期	+0~/ビエ2L	300 g/a	○	○	○	○	2	
	関東 ・東山 ・東海	早 普	○2	○	○2	○2	○2			○始	○	○発生 期	切 ○発生始～盛 期	+5~/ビエ2L		○	○	○	○		
	近畿 ・中国	早 普	○2	○	○2	○2	○2			○発生 期	○再生 前	○発生 期	切 ○発生始～盛 期	+0~/ビエ2L		○	○	○	○		
														+5~/ビエ2L		○	○	○	○		
														+0~/ビエ2L		○	○	○	○		
														+5~/ビエ2L		○	○	○	○		
														+0~/ビエ2L		○	○	○	○		
														+5~/ビエ2L		○	○	○	○		

処理法	地域名	作 期	ノビ	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	ト ツ	ヒ ツ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 8. HOK-922 粒	北海道																				(28)
	東北																				
	北陸																				
	関東 ・東山 ・東海	早 普																			
	近畿 ・中国	早 普	●2	●	●2	●2	●2					●前	切 ○再生 前	+5~/ ノビエ2L		●	●	●	●	1	

Ⅶ-1 9. KPP-932 フロアブル 「継」

VII-1 のつづき

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	杉	ツグミ	ミズナ	ハナモ	カサ	トナ	ヒシ	藻類表層剥離	切	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 15. NC-311 HW-1kg 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生	●前	○再生	+5~ノビ2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
		東北		●2	●	●2		●2				●期		●前					●	●	1	
		北陸		●2	●	●2	●2	●2				●発生		●始			●	●	●	●	2	
		関東・東山・東海	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生	●前	○再生				●	●	●		
			普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	●前	○前			○	○	○	○		
		近畿・中国	早	●2	●	●2	●2	●2				●期		●始				●	●	●	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2						○			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生		○再生				●	●	●	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2				●期		○前			○	○	○	○	1.5	
		九州	早									●発生		○始								
			普	●2	●	●2	●2	●2				●期					●	●	●	●		

VII-1 15. NC-311 KP ドライフロアブル 「総」

VII-1 17. NC-311 KP-1kg 粒 「総」

VII-1 18. NC-311 KS-1kg 粒 「総」

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	杉	ツグミ	ミズナ	ハナモ	カサ	トナ	ヒシ	藻類表層剥離	切	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 19. NSK -850D 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再生	+5~ノビ2L	300 g/a		○	○	○	2	(28)
		東北		○2	○	○2	○2	○2				●期	○前	○前			●	○	○	○		
		北陸												始								
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	杉	ツグミ	ミズナ	ハナモ	カサ	トナ	ヒシ	藻類表層剥離	切	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 20. NSK -850D -1kg 粒	土壌処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発生	●前	●再生	+5~ノビ2L	100 g/a		●	●	●	2	(28)
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2	●2			●期	●前	●前					●	●	1	
		北陸												始								
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

Ⅶ-1 のつづき

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉 マツ	ササ イ	ウツ グサ	ミズ グサ	ハサ グサ	カサ イ	モサ イ	ヒサ イ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-1 21.NSK -850D◎ 粒	土壌処理	北海道													+5~ ノビエ2L	300 g/a						(28) (34)		
		東北																						
		北陸		○2	○2	○2	○2	○2	○2					○前			切 ○再	○	○	○	○		2	
		関東 ・東山 ・東海	早	○2	○2	○2	○2	○2	○2								○再 生	○	○	○	○			
			普	○2	○2	○2	○2	○2						○前 ○生			○	○	○	○				
		近畿 ・中国	早	○2	○2	○2	○2	○2						○前 ○生			○		○	○	○		1	
			普	○2	○2	○2	○2	○2						●前 ○生			○	○	○	○				
		四国	早	○2	○2	○2	○2	○2						○前 ○生			○		○	○	○			
			普	○2	○2	○2	○2	○2						●前 ○生			○	○	○	○				
		九州	早											期										
			普	○2	○2	○2	○2	○2						○							○		○	

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉 マツ	ササ イ	ウツ グサ	ミズ グサ	ハサ グサ	カサ イ	モサ イ	ヒサ イ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-1 22.NSK -850D○ -1kg 粒	土壌 処理	北海道													+5~ノビ2L	100 g/a						(28) (34)	
		東北																					
		北陸		●2	●	●2	●2		●2				●前						●	●	1		
		関東 ・東山 ・東海	早	●2	●	●2		●2						再 生				●	●	●	2		
			普	●2	●	●2	●2	●2				●発 生	●前 ○前				●	●	●	1.5			
		近畿 ・中国	早	●2	●	●2	●2	●2				●期	●始				●	●	●	1			
			普	●2	●	●2	●2	●2					●再 生				●	●	●				
		四国	早	●2	●	●2	●2	●2				●発 生	●前 ○前				●	●	●				
			普	●2	●	●2	●2	●2				●期	●始				●	●	●				
		九州	早																				
			普	●2	●	●2	●2	●2												●	●		

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉 マツ	ササ イ	ウツ グサ	ミズ グサ	ハサ グサ	カサ イ	モサ イ	ヒサ イ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 23.NSK-855 フロアブル	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発 生	○発 生	○再 生	+0~ノビ2L +5~ノビ2L	50 ml/a		○	○	○		(28) (38) (42) 水口処理可 (12)北海道 ・東北
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○前	○前			○	○	○	○	2	
		北陸												始								
		関東 ・東山 ・東海	早																			
			普																			
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

Ⅶ-1のつづき

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マサ	ササ	ワサ	ミサ	ハサ	カサ	モサ	ヒサ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の注意	
Ⅶ-1 24. NSK -855の フロアブル	土壌処理	北海道																				
		東北																				
		北陸		○2	○	○2	○2	○2			○始	●前	○再生前	+5~ノビエ2L	50 ml/a		○	○	○	○	2	水口処理可 (北陸)
		関東・東山・東海	早	○2	○	○2	○2	○2				発生	発生前	+0~ノビエ2L (+0は早期の埴土~埴土のみ)		●	●	○	○		(34) (38) (41) (42)	
			普	○2	○	○2	○2	○2		●始	○期	○前	○始			●	○	○	○			
		近畿・中国	早	○2	○	○2	○2	○2						○再生前	+5~ノビエ2L			○	○	○	○	1
			普	○2	○	○2	○2	○2		●始	●			○前			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2				発生期		○始				○	○	○	○	1
			普	○2	○	○2	○2	○2		●始	●			○再生前			○	○	○	○	1.5	
		九州	早	●2	●	●2	●2	●2		●始	●	発生	●前			●	●	●	●			
	普	○2	○	○2	○2	○2				○期		○始				○	○	○				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する (関東~九州)

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マサ	ササ	ワサ	ミサ	ハサ	カサ	モサ	ヒサ	藻類 表層 剥離								処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-1 25. PSSOD 粒	土壌 処理	北海道																										
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○始				○発生 期	○前 期	+0~ ノビエ2L	300 g/a	●	○	○	○	2	(13) (34)							
		北陸	○2	○	○2	○2	○始						○始			●	○	○	○									
		関東 ・東山 ・東海	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生 期	+0~ ノビエ2L (但し、早期の 埴土のみ)			○	○	○									
			普	○2	○	○2	○2	○2					○期	○始				○	○	○								
		近畿 ・中国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発 生	○前 期	+3~ ノビエ2L			○	○	○	1							
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2				○期	○始			●1	○	○	○	1.5							
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前 期				○	○	○	1							
			普	○2	○	○2	○2	○2	○2				○期	○始			●1	○	○	○	1.5							
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2					○発 生					○	○	○	1							
			普	○2	○	○2	○2	○2					○期				●	○	○	○	1.5							

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マサ	ササ	ワサ	ミサ	ハサ	カサ	モサ	ヒサ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-1 26. SKH -8602の 粒	土壌 処理	北海道		○2	○	○2	○始					○発生 期	○前 期	○再生 前 期	300 g/a		○	○	○	2	(3) (26) (34) (38) (40) (41) (42)		
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○始	○始					○再生 前 期			○	○	○			
		北陸		○2	○	○2	○2	○2							○再生 前 期			○	○	○			
		関東 ・東山 ・東海	早	○2	○	○2	○始	○2							○再生 前 期		1	○	○	○		1.5	
			普	○2	○	○2	○始	○始		○始	○始	○発生 期	○前 期		○再生 前 期				○	○		○	2
		近畿 ・中国	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期		○再生 前 期				○	○		○	1
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始	○始				○再生 前 期			○	○	○			
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期		○再生 前 期				○	○		○	
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始	○始				○再生 前 期			○	○	○			
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期		○再生 前 期			○	○	○			
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始	○期				○再生 前 期				○	○		○	1.5

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、近畿・中国)

Ⅶ-1 のつづき

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカ	ササ	ウグ	ミナ	ハナ	カサ	モサ	ヒム	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 30. SW-907の粒	土壌処理	北海道	○2	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○始	+5~ ノビエ2L	300 g/a	1.5 ●	○	○	○	2	
		東北																			
		北陸																			
		関東 ・東山 ・東海	早																		
			普																		
		近畿 ・中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカ	ササ	ウグ	ミナ	ハナ	カサ	モサ	ヒム	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 31. TDS-888 フロアブル	土壌処理	北海道	○1.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○発生 前	○再 生 前	+0~ノビエ1.5L	50 ml/a	1.5 ●	○	○	○	2	(28)
		東北	○1.5	○	○2	○2	○2	○始			●	●	●			●	○	○	○		水口処理可 (北海道・東北)
		北陸																			
		関東 ・東山 ・東海	早																		
			普																		
		近畿 ・中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカ	ササ	ウグ	ミナ	ハナ	カサ	モサ	ヒム	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 32. TDS- 888O フロアブル	土壌処理	北海道																			(33)
		東北																			(34)
		北陸	○1.5	○	○2	○始	○2				●	●	●	+0~ノビエ1.5L	50 ml/a	●	○	○	○	2	水口処理可 (北海道・東北・近畿・四国)
		関東 ・東山 ・東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○発生 前	○再 生 前	+0~ノビエ1.5L (干0は早期の 砂土、壤土を除く)		1	○	○	○	1.5	
			普	○1.5	○	○2	○2	○2			●	●	●			●	○	○	○	2	
		近畿 ・中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始			○発生 期	○発生 前	○再 生 前	+0~ノビエ1.5L (干0は砂土 を除く普通の のみ)			○	○	○	2	
			普	○1.5	○	○2	○始	○2			○発生 期	○発生 前	○再 生 前			○	○	○	2		
		四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始			○発生 期	○発生 前	○再 生 前				○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○2	○始	○2			○発生 期	○発生 前	○再 生 前				○	○	○	2	
		九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2			●	●	●	+0~ノビエ1.5L			○	○	○	1.5	
			普	○1.5	○	○2	○2	○2			○期	○始	○始				○	○	○		

Ⅶ-1のつづき

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	杉	ツグ ツグ	ミナ ツグ	ハナ ツグ	カ ツグ	モ ツグ	ヒ ツグ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 33. TH-913 HSK-1kg 粒	北海道	早	○2	○	○2	○2		○2		○	○前	+5 ~ / 1.5L	100 g/a	1.5 ●	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	早	○2	○	○2	○2	○2			○	○生				○	○	○		
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○2			●	○生				○	○	○		
	関東・ 東山・ 東海	早	●2	●	●2	●2	●2				○生				●	●	●		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○	○前				○	○	○		
	近畿・ 中国	早	○2	○	○2	○2	○2				○再				○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2				○前				○	○	○	1.5	
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2				○始				○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2				○再				○	○	○	1.5	
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2			●	○生				●	●	●	1	
		普	●2	●	●2	●2	●2				○始				●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	杉	ツグ ツグ	ミナ ツグ	ハナ ツグ	カ ツグ	モ ツグ	ヒ ツグ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 34. TH -913ST フロアブル	北海道	早	○1.5	○	○2	○2		○2		○	○生	+0 ~ / 1.5L	50 ml/a	1.5 ●	○	○	○	2	田植同時 散布可 (東北 ・関東 ・東山 ・東海 ・九州)
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		○	○生				○	○	○		
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		●	○生				○	○	○		
	関東・ 東山・ 東海	早	●1.5	●	●2	●2	●2				○生			1.5 ●	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2		○始	○	○生				○	○	○	2	
	近畿・ 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始			●	○生				○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				○前				○	○	○	1.5	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始			●	○生				○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				○前				○	○	○	1.5	
	九州	早	●1.5	●	●2	○始	○始				○生				○	○	○		
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				○始				○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	杉	ツグ ツグ	ミナ ツグ	ハナ ツグ	カ ツグ	モ ツグ	ヒ ツグ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 35. TSM-612 フロアブル	北海道	早	○1.5	○	○始	○始		○始		○	○生	+0 ~ / 1.5L (+0.100ml/a)	100~ 120 ml/a	1.5 ●	○	○	○	2	(33) (34) (3) 田植同時 散布可 (全域) 水口処理 可 (北海道 ~九州)
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		○	○生				○	○	○		
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始		○	○生				○	○	○		
	関東・ 東山・ 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○始				○生			1.5 ●	○	○	○		
		普	○1.5	○	○2	○2	○始			○	○生				○	○	○		
	近畿・ 中国	早	○1.5	○	○始	○2	○2			○	○生				○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2			○	○生				○	○	○	2	
	四国	早	○1.5	○	○始	○2	○2			○	○生				○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2			○	○生				○	○	○	2	
	九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○生				○	○	○	1.5	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2				○生				○	○	○		

Ⅶ-2 初・中期一発処理剤

Ⅶ-2 1.AC-014E-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 2.AGH-925-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	ササ	ウグ	ミナ	ハナ	カサ	モサ	ヒシ	藻類表層剥離	切	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-2 3.CH-904	粒 茎葉兼土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	●再生前	+10～ノビ×2.5L	300 g/a	●	●	●	●	2	(28)
		東北		●2.5	●	●2		●2				●期	●	●	+5～ノビ×2.5L				●	●		
		北陸																				
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マツ	ササ	ウグ	ミナ	ハナ	カサ	モサ	ヒシ	藻類表層剥離	切	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-2 4.CH-904	粒 茎葉兼土壌処理	北海道													+5～ノビ×2.5L	300 g/a	●	●	●	●	2	(28) (34)
		東北																				
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2						●再生前			●	●	●	●		
		関東・東山・東海	早										●発生	●前								
			普	●2.5	●	●2	●2	●2				●期	●前	●始			●	●	●	●		
		近畿・中国	早																			
			普	●2.5	●	●2	●2	●2						●再生前			●	●	●	●	1.5	
		四国	早											●始			●	●	●	●		
			普	●2.5	●	●2	●2	●2									●	●	●	●		
		九州	早										●発生									
			普	●2.5	●	●2	●2	●2				●期					●	●	●	●	1	

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マツ	ササ	ウグ	ミナ ツ	ハナ ツ	カサ イ	モサ ツ	ヒシ ツ	藻類 表層 剥離	切		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-2 5.CH-906	粒 茎葉兼土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	●再生前		+10～ノビ×2.5L	300 g/a	●	●	●	●	2	(28)	
		東北		●2.5	●	●2		●2				●期	●	●始		+5～ノビ×2.5L			●	●	●	1.5		
		北陸																						
		関東 ・東山 ・東海	早																					
			普																					
		近畿 ・中国	早																					
			普																					
		四国	早																					
			普																					
		九州	早																					
			普																					

VII-2 のつづき

[illegible]

VII-2 11. DPX-47MN-1kg 粒 「繼」

VII-2 12. DPX-47ND-1kg 粒 「繼」

	処理方法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マサキ	杉材	カラ材	ミササギ	ノボリ	カライ	松材	ヒッコリ	藻類表層剝離	切り	処理時期	使用量・製品	砂埃土	塩埃土	塩埃土	減水深 cm/d	使用上の注意				
Ⅶ-2 13. DPX - 47 S 粒	千葉県土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2				●発生期	●前	●再生前～始	+5～ ノビエ2.5 L	300 g/d	●	●	●	2	(28) (34)			
		東北																							
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2						●前							●		1		
		関東・東山・東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2										●再生前～始		●	●		●	2	
			普	●2.5	●	●2	●2	●2						●発生期				●再生前～始	●	●	●		●		
		近畿・中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●期				●～始			●		●	●	1
			普	●2.5	●	●2	●2	●2													●		●	●	
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●発生期				●再生前～始			●		●	●	
			普	●2.5	●	●2	●2	●2													●		●	●	
		九州	早																						
			普	●2.5	●	●2	●2	●2													●		●	●	1.5

[illegible]

	処理法	地域名	作期	/t・a 広葉マヨ	ササ マヨ	ワカ マヨ	ミナ マヨ	ハチ マヨ	ワカ マヨ	トホ マヨ	ハチ マヨ	籾殻 表層 剥離	セリ	処理時期	使用量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
VII-2 15.DPX -47TD -1kg粒	基盤養土環境処理	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前	●再生前 ～始	+5~ノビ2.5L	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)	
		東北	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前		+5~ ノビエ3 L				●	●	1		
		北陸	●3	●	●2	●2	●2						●再生前 ～始					●	●			
		関東 ・東山 ・東海	早 ●2.5	●	●2		●2							+5~ノビ2.5L			●	●	●	2		
			普 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●前～始			●	●	●	●			
		近畿 ・中国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●	●再 生前 ～始				●	●	●	1		
			普 ●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●再 生前 ～始			●	●	●				
		四国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再 生前 ～始				●	●	●			
			普 ●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●			●	●	●				
		九州	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期						●	●	●			
			普 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期						●	●	●			

[illegible][illegible]

	処理方法	地域名	作期	1年 広葉 マカ	杉材	材材	2年 材材	3年 材材	4年 材材	5年 材材	6年 材材	7年 材材	8年 材材	9年 材材	10年 材材	処理時期	使用 量・ 製品	砂 礫 土	礫 土	堆 土	堆 土	水深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-2 18. DPX - 84 MN○粒	聖葉兼土壌処理	北海道 東北																					
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	●2				●発生期		●再生前	+5~ノマ2.5L	300 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34) (36) (42)
Ⅱ-6-(8) No. 2を併用		関東・東山・東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○始		○発生期	○前	○●再生前		●	●	○	○	○	2	
		近畿・中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	●前	○再生前			○	○	○	○	2	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始				○再生前		○	○	○	○		1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	●前	○再生前		●	○	○	○		1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始				○再生前		○	○	○	○		1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生前			●	○	○	○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生前			○	○	○	○		

[illegible]

— 49 —

Ⅶ-2のつづき

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マコバ	ササ	ツバ	ミナ	ハナ	カサ	ササ	種類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-2 21. DPX -84ND①粒	聖奈兼土壌処理	北海道													300 g/a						(28) (34)		
		東北																					
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●再生		+5~ノビ2.5L		●	●	●		1	
		関東・東山・東海	早	●3	●	●2	●2	●2					●前	●再生		+5~ノビ3L			●	●		2	
			普	●3	●	●2	●2	●2					●発生	●前					●	●			
		近畿・中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●期	●再生		+5~ノビ2.5L			●	●		●	1
			普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●再生				●	●	●		2	
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●始					●	●		●	1
			普	●2.5	●	●2	●2	●2					●期	●再生				●	●	●		2	
		九州	早										●発生	●前		+5~ノビ3L							
			普	●3	●	●2	●2	●2					●期	●始				●	●	●		1.5	

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マコバ	ササ	ツバ	ミナ	ハナ	カサ	ササ	種類表層剥離	切	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-2 22.DPX -84SC -1kg粒 Ⅱ-6-(5) No.1を併用	聖奈兼土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2					○発生	○発生	+5~+20 (ノビ2.5L)	100 g/a	●	○	○	○	2	(28) (42)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○期	○前	+5~ノビ2.5L			○	○	○		
		北陸											○前								
		関東・東山・東海	早										○前								
			普										○前								
		近畿・中国	早										○前								
			普										○前								
		四国	早										○前								
			普										○前								
		九州	早										○前								
			普										○前								

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年広葉マコバ	ササ	ツバ	ミナ	ハナ	カサ	ササ	種類表層剥離	切	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-2 23.DPX -84SC①-1kg粒	聖奈兼土壌処理	北海道																			
		東北										●発生	切								
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○再生	+5~ノビ2.5L	100 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34)
		関東・東山・東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●発生	●発生				○	○	○	2	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前			●	○	○	○		
		近畿・中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○切				○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○前	○再生			●	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前				○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○前	○前			●	○	○	○	1.5	
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2					○再生			●	●	●	●	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2					○前			●	○	○	○		

Ⅶ-2のつづき

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マハ	ササ	ウグ	ミナ ツリ	ハナ ツル	カサ イ	ササ	ヒム Ⅱ	藻類 表層 剥離	切		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-2 24.DPX-84T -1kg粒 Ⅱ-6-(8) No. 3を併用	茎葉兼土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2			○2			○発生	○前	●再生	○*	+5~+20(ノビ2.5L)	1.5 ○	○	○	○	○	2	(26) (28) (36) (38) (42)	
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○始	○前	○**	+5~ノビ2.5L	100 g/a	○	○	○	○				
		北陸																							
		関東 ・東山 ・東海	早														* エノササカサ 始~2L **ノササカサ 発生始~盛								
			普																						
		近畿 ・中国	早																						
			普																						
		四国	早																						
			普																						
		九州	早																						
	普																								

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マハ	ササ	ウグ	ミナ ツ	ハナ ツ	カサ イ	ササ ツ	ヒム II	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-2 25.DPX -84TD -1kg粒	※葉 兼土 壌処理	北海道																					
		東北																					
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	●発生期	○前	○再生前	○***	+5~ノビ2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(26) (28) (34) (38)
		関東・東山・東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期		●始	***ノサカサ始~本葉展開期		●	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期		●始				○	○	○			
		近畿・中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○再生前					○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	○前	○再生前					○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○再生前					○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	○前	○始					○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2											○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	●2									+5ノビ2.5L			○	○	○		

		処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マハ	ササ	ウグ	ミナ ツ	ハナ マ	カサ マ	ササ マ	ヒム マ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-2 26. KUH-883 -1kg粒 Ⅶ-1 No. 11を併用	聖奈義土壌処理	北海道	○2	○	○2	○2		○2				○発生	○前	○再生	○*	※ノビ2L	100 g/a					2	(28) (38) (42) 北海道の +0は砂 壌土を降 く 東北の +0は地 壌土~植 土	
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○前	○*	※ノビ2.5L		○		○	○					
		北陸																						
		関東 ・東山 ・東海	早																					
		普																						
		近畿 ・中国	早																					
		普																						
		四国	早																					
		普																						
		九州	早																					
		普																						

VII-2のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2	一年広葉マカ	ササ	カサ	ミササ	ハササ	カサイ	ササ	ハサ	深層表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 27. KUH -8830粒 近畿～九州については Ⅶ-1の使用基準参照	茎葉兼土壌処理	北海道																				
		東北																				
		北陸		02.5	0	02	02	02	02		0始	0発生	0前	0再生	+0～ ノビエ2.5L (早期は2L)	300 g/a	0	0	0	0	2	(26) (34) (36) (38) (41) (42) +0は植 土～植 土
		関東・東山・東海	早	02	0	02	02	02				0前	0前	0再生			0	0	0	0		
		普		02.5	0	02	02	02		0始	0始	0	0前	0始			0	0	0	0		
		近畿・中国	早																			
		普																				
		四国	早																			
		普																				
		九州	早																			
		普																				

	処理法	地域名	作期	1/2	一年広葉マカ	ササ	カサ	ミササ	ハササ	カサイ	ササ	ハサ	深層表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	植土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 28. KUH -8830粒 -1kg粒 近畿～九州については Ⅶ-1の使用基準参照	茎葉兼土壌処理	北海道																				
		東北												セリ								
		北陸		02.5	0	02	02	02	02		0始	0発生	0前	0再生	+0～ ノビエ2.5L (早期は2L)	100 g/a	0	0	0	0	2	(26) (34) (38) (41) +0は植 土～植 土
		関東・東山・東海	早	02	0	02	02	02				0発生	0前	0再生			0	0	0	0		
		普		02.5	0	02	02	02				0発生	0前	0始			0	0	0	0		
		近畿・中国	早									0発生	0前	0始			0	0	0	0		
		普																				
		四国	早																			
		普																				
		九州	早																			
		普																				

VII-2 29. KUH-921-1kg 粒 「継」

VII-2 30. KUH-926-1kg 粒 「継」

VII-2 31. KUH-926-1kg 粒 「継」

VII-2 32. KUH-931-1kg 粒 「継」

VII-2 33. KUH-936-1kg 粒 「継」

VII-2 34. KUH-936-1kg 粒 「継」

VII-2 35. KUH-936B-1kg 粒 「継」

VII-2 36. KUH-936B-1kg 粒 「継」

VII-2 37. KUH-936C-1kg 粒 「継」

VII-2 38. KUH-936C-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2のつづき

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	ト ツ	ハ ツ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-2 45. NC -311SCD -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 前	○再生 前	+5~+20(ノビ2.5L)	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (34)		
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○再生 前		+5~ノビ2.5L		○	○	○			
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	●前	始				○	○	○			
		関東・ 東山・ 東海	早	○2.5	○	○2	●2	○2										●	○	○			
			普	○2.5	○	○2	●2	○2						●前~始				○	○	○			
		近畿・ 中国	早										発生	切									
			普	○2.5	○	○2	○2	○2					●期	○再生 前				○	○	○		1	
		四国	早										発生	前									
			普	○2.5	○	○2	○2	○2					●期	○始				○	○	○			
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●再生				●	●	●		●	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	●前				○	○	○		1.5	
始																							

始

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	ト ツ	ハ ツ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-2 46. NC-311T -1kg 粒	聖葉兼土 壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2					○発生 前	○再生 前	+5 ~ +20 (ノビ2.5L)	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(26) (34) (36) (38) (40) (41) (42)		
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始		○期	○前	+5 ノビ2.5L			○	○	○				
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2					始					○	○				
		関東・東山・東海	早	○2.5	○	○2	○2					発生						○	○	○			
			普	○2.5	○	○2	●2	○2					○前	○再生				○	○	○			
		近畿・中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○発生	切				○	○	○		1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前	始		●ノビノビ 始~2L		●	○	○		1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○発生	始		●ノビノビ 始		○	○	○		1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前	始				●	○	○		1.5	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○発生			+5 ~ ノビ2L		○	○	○		○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前			+5 ~ ノビ2.5L		○	●	○		○	1.5

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	ト ツ	ハ ツ	藻類 表層 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-2 47. NC-329 Ⅱ-6-(1) No. 7を併用	粒 聖葉兼土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2				○再生 前	+5 ~ +20 = (ノビ2.5L)	300 g/a	1.5	●	○	○	○	2	(34)	
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始		○発生 前	+5 ~ ノビ2.5L		●	○	○	○	(38)			
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始		○発生 前		●	○	○	○	(40)			
		関東 ・東山 ・東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○発生	○再生 前		* ノビ : 始		○	○	○		(41)	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	○期	○前		**ノビノビ効力 : 始-2L		○	○	○		(42)	
		近畿 ・中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○発生	○始				○	○	○	1		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	●期	○前		○再生 前		○	○	○			
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○発生	○前					○	○	○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	●期	○前		○始		○	○	○			
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2					発生	発生					○	○	○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始		○期	○前				1	○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(北陸~四国)

	処理法	地域名	作期 /月	一年 広葉 マツノ	初刈	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 肥土	渾水 深 cm/d	使用上 の注意	
VII-2 48. NC-329 -1kg粒	茎葉兼土層処理	北海道	○2.5	○	○2	○2			○2					○	発生期	○	再生前	+5 ~ +20 (~ノビ×2.5L) +5~ノビ×2.5L	100 g/a	●	○	○	○		(34) (41)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2						○	発生期	○	再生前			○	○	○	2		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2						○	発生期	○	再生前			○	○	○			
		関東 ・東山 ・東海	早 ●2.5 ●	●	●2	●2	●2							●	前	●	再生前			●	●	●	●	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2							●	前	○	再生前			○	○	○	○	2	
		近畿 ・中国	早 ●2.5 ●	●	●2	●2	●2							●	発生期	●	再生前				●	●	●	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2							●	発生期	○	再生前			○	○	○	○	1.5	
		早 ●2.5 ●	●	●2	●2	●2								●	発生期	●	再生前				●	●	●	1	
		四国	普 ○2.5 ○	○	○2	○2	○2								○	前	○	始		○	○	○	○	1.5	
		九州	早												発生期	発生前	○	始							
		普 ○2.5 ○	○	○2	○2	○2								○	期	○	前				○	○	○		

VII-2 49. NC-339-1 kg 粒 「繼」

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マダモ	ササノ	カサノ	ミツハシ	アサノ	カサノ	ササノ	種類 表層剥離	セリ		処理時期	使用量・ 製品	砂 壤土	壇 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の注意				
Ⅶ-2 50.NC-345	粒 茎葉兼土壌処理	北海道	●2.5●	●2●	●2			●2				●発生期	●前	●再生前	+5~ ノビエ2.5L	300 g/a		●	●	●	2	(28) (34)			
		東北	●2.5●	●2●	●2	●2						●発生期	●前	●再生前						●	●		●	1	
		北陸	●2.5●	●2		●2								●始							●		●		
		関東・ 東山・ 東海	早	●2.5●	●2		●2						●発生期	切			●再生前				●		●	●	2
			普	●2.5●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前							●		●	●	
		近畿・ 中国	早	●2.5●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●前			●再生前				●		●	●	1
			普	●2.5●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●始						●	●		●	●	1.5
		四国	早	●2.5●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前							●		●	●	1
			普	●2.5●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●前						●	●		●	●	1.5
		九州	早										●発生期				●始								
普	●2.5●		●2	●2	●2						●発生期						●	●	●	●	1				

VII-2 51. NC-349 粒 「繼」

VII-2 52. NC-351 粒 「繼」

VII-2 53. NC-355 ドライブフロアブル 「継」

VII-2 54. NC-356-1 kg 粒 「繼」

[illegible]

VII-2 57. NH-9302-1 kg 粒 「繼」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 アザミ	初刈	初刈	2次 刈	3次 刈	4次 刈	5次 刈	6次 刈	7次 刈	8次 刈	9次 刈	種類 表層 剥離	切		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
VII-2 58.TH -913ADE -1kg粒	茎葉兼土壌処理	北海道	●3	●	●2	●2		●2						●発生 期	●前	●再生前 ～始	+5～ロE3L	100 g/a	●	●	●	2	(28) (34)		
		東北	●2.5	●	●2		●2	●2									+5～ ノビエ2.5 L				●	●		1	
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2							●前							●	●			
		関東 ・東山 ・東海	早 普	●3 ●	● ●	●2 ●2	●2 ●2							●発生 期	●前	●再生 前～始	+7～ ノビエ3 L			●	●	●		●	2
		近畿 ・中国	早 普																						
		四国	早 普																						
		九州	早 普																+7～ ノビエ2.5 L						
					●2.5	●	●2	●始	●2							●前						●		●	●

	処理法	地域名	作期	バタ	一年 広葉マカシ	杉材	竹材	ミナソウ	ハチトク	知知イ	花物	ハシロ	森類 表層剥離	切	処理時期	使用量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意				
Ⅶ-2 59. TH - 913 SN 粒	聖菜糞土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	○発生前	○再生前	+10~ノビエ2.5L	300 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (34)			
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	●2			○発生期	○発生前	○前	+5~ノビエ2.5L		●	○	○	○					
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2				●		○始			●	○	○	○					
		関東・東山・東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○発生期	●切			●	●	○			○		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○発生期	○前		○再生前	○	○	○			○		
		近畿・中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○発生期	○前		○再生前	●	○	○			○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2					●期	○発生期	○前		○始	○	○	○			○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期	○発生期		○前	○再生前	●	○			○	○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2						●期	○発生期		○前	○前	○	○			○	○	1.5
		九州	早	○2.5	○	○2	●2	○2						○発生期	○発生期		○始		○	○			○	○	1
普	○2.5		○	○2	○2	○2						○期	○前			●	●	○	○	1.5					

VII-2のつづき

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マコバ	ササ	ワカ	ミナ	ハサ	カサ	ササ	藻類 表層剥離	切		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意			
VII-2 60. TH -913 SN -1 kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生	+10~ノビ2.5L	100 g/a	1.5	●	●	●	●	2	(28) (34)		
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●前	●前	●		+5~ノビ2.5L		●	●	●	●		1	
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2					●始		●				●	●					
		関東・東山・東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期		●				●	●	●	●		2	
			普	●2.5	●	●2	●2	●2					●期	●前	●再生					●	●	●		1	
		近畿・中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●前		●			●	●	●			
			普	●2.5	●	●2	●2	●2					●期	●前*	●始				●	●	●	●		1.5	
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●					●	●	●		1	
			普	●2.5	●	●2	●2	●2					●期	●前*	●再生				●	●	●	●		1.5	
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●前	●		●前			●	●	●		●	
			普	●2.5	●	●2	●2	●2						●始	●		●始			●	●	●		●	

VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤

VII-3-(1) 1.AC-014A 粒 「継」

VII-3-(1) 2.AC-014C 粒 「継」

VII-3-(2) 一年生持続型除草剤

VII-3-(2) 1.CG-198-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビ	一年 広葉マコバ	ササ	ワカ	ミナ	ハサ	カサ	ササ	ヒム	藻類 表層剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-3-(2) 2.CH-902	粒	土壌処理	北海道													300 g/a						(33) (18)
			東北	●1.5	●	●2								+5~ノビ1.5L				●	●	1.5		
			北陸	●1.5	●	●2								+3~ノビ1.5L				●	●	1		
			関東 ・東山 ・東海	早																		
				普	●1.5	●	●2											●	●	●	2	
			近畿 ・中国	早																		
				普																		
			四国	早																		
				普																		
			九州	早																		
				普																		

Ⅶ-3-(2) のつづき

	処理 法	地域名	作 期	ノビ	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	モ ツ	ヒ ツ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-3-(2) 3.CH-902 -1kg粒	土 壌 処 理	北海道																				
		東北																				
		北陸		●1.5	●	●2									+3~ノビ1.5L	100 g/a			●	●	1	(33) (18)
		関東 ・東山 ・東海	早																			
			普	●1.5	●	●2												●	●	●	2	
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

Ⅶ-1 少量散布法

	処理 法	地域名	作 期	ノビ	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	モ ツ	ヒ ツ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 1.KUH-883 -1kg粒	土 壌 処 理	北海道																				(28)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○発 生 期	○前	○再生前 ~始	+5~+20 (ノビ2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(38) (42)
		北陸																			*	
		関東 ・東山 ・東海	早																			
			普																			
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

*初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上

	処理 法	地域名	作 期	ノビ	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	モ ツ	ヒ ツ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 2.KUH-883○ -1kg粒	土 壌 処 理	北海道																				
		東北																				
		北陸		○2.5	○	○2	○	○2	○		○	○	○前	○再 生 期	+5~+20 (ノビ2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(26) (34) (38) (41) *
		関東 ・東山 ・東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○発 生 期	○前	○再 生 期 ~始			○	○	○			
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前	○始			○	○	○			
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発 生 期	○前		+5~+20 (ノビ2L)		○	○	○	○		
			普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前				○	○	○	○		

*初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上。(北陸・関東~東海・九州)

II-2 移植前後土壤処理

	処理法	地域名	作 期	1年 広葉 マカシ	初刈	2次刈	3次刈	4次刈	5次刈	6次刈	7次刈	8次刈	9次刈	10次刈	11次刈	12次刈	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	礫 土	堆 積 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-2 1.KPP-2005 ジャンボ	土壌処理	北海道	●1	●	●始												前夜~-4,+0~+3 (ノビL)	50g X21/a	●	●	●	●	2	(45) (46)
		東北	●	●		●											植代後~-4, +0~+3			●	●		1	
		北陸	●	●		●													●	●				
		関東 ・東山 ・東海	早 普	●1	●	●始		●始									前夜~-4,+0~+3 (ノビL)	50g X21/a	●	●	●	●	2	1.5
		近畿 ・中国	早 普	●1	●	●始		●始									前夜~-4,+3 (ノビL)		●	●	●	●		
		四国	早 普	●1	●	●始		●始											●	●	●	●		
		九州	早 普	●	●	●		●									前夜~-4,+0				●	●	1	

	処理方法	地域名	作期	1年 広葉 マコ	ササ メ	シロ メ	アサ メ	カサ メ	ササ メ	シロ メ	種類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	塩 土	塩 土	塩 土	水深 cm/d	使用上 の注意
II-3 I.AKD-7036 ジャンボ	茎葉系土壌処理	北海道									○始～盛		藻類・表層剥離発生始～盛期	50x2 g/a		○	○	○	<u>2</u>	(45)
		東北									○始～盛					○	○	○	1	
		北陸									○始～盛					○	○	○		
		関東・東山・東海	早										藻類・表層剥離・ウキクサ発生始～盛期						<u>2</u>	
			普								○始～盛				●	○	○	○		
		近畿・中国	早										藻類・表層剥離発生始～盛期						1	
			普								○始～盛				●	○	○	○		
		四国	早																	
			普								○始～盛				●	○	○	○		
		九州	早								●始		藻類・表層剥離発生始			●	●	●		
			普								○始					○	○	○	1.5	

[illegible]

II-6-(1) 1. JC-940 ジャンボ 「継」

II-6-(5) 1. JC-940 ジャンボ 「燃」

Ⅶ-1 I.NC-311SS ジャンボ	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	初刈	2年 刈	3年 刈	4年 刈	5年 刈	6年 刈	7年 刈	8年 刈	9年 刈	10年 刈	11年 刈	12年 刈	13年 刈	14年 刈	15年 刈	16年 刈	17年 刈	18年 刈	19年 刈	20年 刈	21年 刈	22年 刈	23年 刈	24年 刈	25年 刈	26年 刈	27年 刈	28年 刈	29年 刈	30年 刈	31年 刈	32年 刈	33年 刈	34年 刈	35年 刈	36年 刈	37年 刈	38年 刈	39年 刈	40年 刈	41年 刈	42年 刈	43年 刈	44年 刈	45年 刈	46年 刈	47年 刈	48年 刈	49年 刈	50年 刈	51年 刈	52年 刈	53年 刈	54年 刈	55年 刈	56年 刈	57年 刈	58年 刈	59年 刈	60年 刈	61年 刈	62年 刈	63年 刈	64年 刈	65年 刈	66年 刈	67年 刈	68年 刈	69年 刈	70年 刈	71年 刈	72年 刈	73年 刈	74年 刈	75年 刈	76年 刈	77年 刈	78年 刈	79年 刈	80年 刈	81年 刈	82年 刈	83年 刈	84年 刈	85年 刈	86年 刈	87年 刈	88年 刈	89年 刈	90年 刈	91年 刈	92年 刈	93年 刈	94年 刈	95年 刈	96年 刈	97年 刈	98年 刈	99年 刈	100年 刈	101年 刈	102年 刈	103年 刈	104年 刈	105年 刈	106年 刈	107年 刈	108年 刈	109年 刈	110年 刈	111年 刈	112年 刈	113年 刈	114年 刈	115年 刈	116年 刈	117年 刈	118年 刈	119年 刈	120年 刈	121年 刈	122年 刈	123年 刈	124年 刈	125年 刈	126年 刈	127年 刈	128年 刈	129年 刈	130年 刈	131年 刈	132年 刈	133年 刈	134年 刈	135年 刈	136年 刈	137年 刈	138年 刈	139年 刈	140年 刈	141年 刈	142年 刈	143年 刈	144年 刈	145年 刈	146年 刈	147年 刈	148年 刈	149年 刈	150年 刈	151年 刈	152年 刈	153年 刈	154年 刈	155年 刈	156年 刈	157年 刈	158年 刈	159年 刈	160年 刈	161年 刈	162年 刈	163年 刈	164年 刈	165年 刈	166年 刈	167年 刈	168年 刈	169年 刈	170年 刈	171年 刈	172年 刈	173年 刈	174年 刈	175年 刈	176年 刈	177年 刈	178年 刈	179年 刈	180年 刈	181年 刈	182年 刈	183年 刈	184年 刈	185年 刈	186年 刈	187年 刈	188年 刈	189年 刈	190年 刈	191年 刈	192年 刈	193年 刈	194年 刈	195年 刈	196年 刈	197年 刈	198年 刈	199年 刈	200年 刈	201年 刈	202年 刈	203年 刈	204年 刈	205年 刈	206年 刈	207年 刈	208年 刈	209年 刈	210年 刈	211年 刈	212年 刈	213年 刈	214年 刈	215年 刈	216年 刈	217年 刈	218年 刈	219年 刈	220年 刈	221年 刈	222年 刈	223年 刈	224年 刈	225年 刈	226年 刈	227年 刈	228年 刈	229年 刈	230年 刈	231年 刈	232年 刈	233年 刈	234年 刈	235年 刈	236年 刈	237年 刈	238年 刈	239年 刈	240年 刈	241年 刈	242年 刈	243年 刈	244年 刈	245年 刈	246年 刈	247年 刈	248年 刈	249年 刈	250年 刈	251年 刈	252年 刈	253年 刈	254年 刈	255年 刈	256年 刈	257年 刈	258年 刈	259年 刈	260年 刈	261年 刈	262年 刈	263年 刈	264年 刈	265年 刈	266年 刈	267年 刈	268年 刈	269年 刈	270年 刈	271年 刈	272年 刈	273年 刈	274年 刈	275年 刈	276年 刈	277年 刈	278年 刈	279年 刈	280年 刈	281年 刈	282年 刈	283年 刈	284年 刈	285年 刈	286年 刈	287年 刈	288年 刈	289年 刈	290年 刈	291年 刈	292年 刈	293年 刈	294年 刈	295年 刈	296年 刈	297年 刈	298年 刈	299年 刈	300年 刈	301年 刈	302年 刈	303年 刈	304年 刈	305年 刈	306年 刈	307年 刈	308年 刈	309年 刈	310年 刈	311年 刈	312年 刈	313年 刈	314年 刈	315年 刈	316年 刈	317年 刈	318年
---------------------------	-----	-----	----	----------------	----	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------

[illegible]

	処理法	地域名	作 期	一年 広葉 マツ	杉	ツグ ツ	ミナ ツ	アサ ツ	カ ツ	ト ツ	シ ツ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意				
VII-1 3.NSK -850D◎ ジャンボ	土壌処理	北海道												+5 ~ /℃1.5L	50x2 g/a					1	(28) (34) (45) (47)			
		東北																						
		北陸		○1.5 ○	○始	○始	○始											○	○			○		
		関東 ・東山 ・東海	早																					
			普	○1.5 ○	○2	○2	○2															○	○	
		近畿 ・中国	早																					
			普	○1.5 ○	○始	○始	○始															○	○	○
		四国	早																					
			普	○1.5 ○	○始	○始	○始																○	○
		九州	早													発 生								
普	●1.5 ●		●始	●始	●始							●期					●	●	●					

VII-1 のつづき

[illegible]

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカシ	ホウ リ	ミナ ツ	ハナ ツ	知 ツ	モ ツ	ヒナ ツ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-1 5.SW-918 ジャンボ	土壌処理	北海道																		(25)	
		東北																		(28)	
		北陸		○1.5 ○	○始	○始	○始							+3 ~ /日1.5L	50X2 g/a		○	○	○	1.5	(34)
		関東 ・東山 ・東海	早	●1.5	●	●2	●2	●2					●再生 前					●	●	1	(43)
		普	○1.5 ○	○2	○2	○2							始			○1.5	○	○	○	2	(47)
		近畿 ・中国	早																		
		普	○1.5 ○	○始	○始	○始							●再生 前			●	○	○	○	1.5	
		四国	早																		
		普	○1.5 ○	○始	○始	○始							●始			●	○	○	○		
		九州	早																		
普	○1.5 ○	○2	○2	○始						●発生期					○	○	○	○	2		

VII-2 初・中期一発処理剤

VII-2 1. NC-353 ジャンボ 「継」

VII-3-(2) 一年生持續型除草劑

VII-3-(2) 1. CH-902 ジャンボ 「継」

水稻関係除草剤使用基準一覧表の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む。) 草種欄の数字、字句で草種毎の薬齢を示した。【例：○前(発生前)、○2(2棄期まで)】
IVおよびVの項目の地域名の○は前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
使用上の注意は別添一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処埋時期・使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合
作 期 の 拡 大 : 拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。
草 種 の 拡 大 : 拡大可能となった草種に●を印した。
薬 齢 の 拡 大 : 拡大可能となった薬齢にアンダーラインを付した。(例：○2.5)
処埋時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例：+3 ~ /5×2L、50 ~ 75ml/a)
土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。
4. 「懸」・「燃?」・「中止」の場合は判定のみ記載した。

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下のときは、砂壤土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48～72時間経過後に行なう。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/a を処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優先圃場では、400g/a で処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/a とし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用は避ける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (21) 前処理剤との組合せで使用する。
- (22) 稀釈水量は出来るだけ少く茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用は避ける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組合せで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組合せで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組合せで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組合せで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組合せで使用する。
- (43) エゾノサヤヌカグサ防除はエゾノサヤヌカグサに有効な剤との組合せで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5～6cmの灌水条件で投入する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 藻類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。